資料　2

由布市総合戦略に係る平成27年度事業実施結果報告及び検証・評価一覧表

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 総事業費	④ 交付金充当経費	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI) 指標	指標値	単位	目標年月	⑥ 本事業終了後における実績値 実績値	事業効果	⑦ 外部有識者からの評価 事業の評価	外部有識者からの意見	⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について 今後の方針	今後の方針の理由	⑨ 担当課
1	企業立地促進事業	立地企業に対する補助を行い企業誘致を図り雇用の創出を図る。	12,575,000	12,575,000	指標① 企業誘致による新規雇用者	10	人	H28.3	11	大分市からの工場移転に対しての、助成措置を行い、新規雇用者指標値10人に対し、11名の新規雇用者を確保でき地方創生に非常に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・初年度なので10人の雇用ということだが、企業誘致としては規模が小さすぎる。積極的に行政として誘致をしてほしい。民間からの手上げ方式だけではなく由布市も条件をそろえて事業展開をしていくことも必要ではないか。 ・由布市の情報発信をして市内だけでなく市外からも誘致をしてほしい。	事業の継続	企業誘致を推進することで、地域の活性化と安定した雇用を創出し、人口減少対策を推進していくため。	総合政策課
2	就農支援事業	新規就農者支援メニュー（農業大学就学補助等）を拡大し、新規就農者の確保、定住促進を推進する。また、農業法人等の経営基盤を強化し、新規品目の導入等を推進する。更に新規就農者や農業法人等の若い世代で「農業青年ネットワーク」を構築し、情報の共有や研修を行い、労働者の賃賃の向上を目指す。	4,579,290	2,549,000	指標① 新規就農者	2	人	H28.3	11	県との連携を密にし農地や支援情報の収集に努め、きめ細かな情報提供を行い、併せて就農希望者の把握に努めたことにより、新規就農者指標数2名に対して、11名の新規就農者となり、地方創生に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・新規就農者の11人がどういう気持ちで来ているのか。農産物で稼いでいきたい人か、農業をしてみたい人か。 ・新規就農者と今まで農業をしてきた人との交流の場がほしい。	事業の継続	今後も担い手としての新規就農者の確保を行い、安心して農業ができる青年農業者組織の情報交換や就農環境の整備を推進していくため。	農政課
					指標② ﾌｧｰﾏｰｽﾞｽｸｰﾙ参加者	3	人	H28.3	1						
					指標③ ﾈｯﾄﾜｰｸ構築	1	ﾈｯﾄﾜｰｸ	H28.3	1						
					指標④ 新規品目	1	品	H28.3	0						
3	都市と農村の交流促進事業	由布市におけるグリーンツーリズムを推進させ、インバウンドを含めた観光振興と農村の活性化を図る。また、地区住民が一体となって農泊客を受け入れる「由布市版農泊スタイル」を確立して、都市と農村の交流人口の増加を目指す。	2,904,720	2,400,000	指標① 農泊施設数	25	軒	H28.3	25	由布市グリーンツーリズム研究会を中心とした取り組みを行い、農泊施設の指標数25軒に対し、目標数を達成することができた。また、農泊客数においては、指標数500名に対し、300名となり目標数を下回った。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・300人の宿泊者の内訳。個人か修学旅行生のような団体できているのか。 ・安心院は子供中心、臼杵市は大人や外国人が中心と聞いている。	事業の継続	農泊施設数は増加傾向であり、一般観光客の農泊ツアーの開催や地域全体で受入れを行う環境整備を推進していくため。	農政課
					指標② 農泊客数	500	人	H28.3	300						
4	インバウンド受入環境整備事業	公共施設、飲食店の表示の多言語化・市民のおもてなし意識の向上・外国人観光客向けの観光・体験メニューを充実し、交流人口の増加・地域産業の活性化・地域のイメージアップ・国際交流・親善などの経済効果を図る。	3,959,500	499,000	指標① 外国人宿泊数	50,000	人	H28.3	60,000	外国人観光客を受け入れるための戦略の整備・充実として、外国語（英語・韓国語）版観光案内の地図を作成し、外国人観光客に向けての情報発信の強化が図られたことにより、外国人宿泊者数の指標数50，000人に対し、60，000人を達成することができ地方創生に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・すべての事業に関して、数字だけではなく数字の背景についても丁寧にあげてほしい。数字だけで評価をするのは難しい。 ・№4に関しては国別の割合、外国人対応の宿が増えたのではないか。2つ3つの指標が必要。 ・地震時のインバウンドの対応がどれだけできたのか等、指標も状況に応じて考えていく。 ・地震の影響を受けて、指標の見直しをどういったタイミングで行うのか。	事業の継続	多言語パンフレットやPV等の情報発信を更に強化して、来訪が少ない地域の外国人観光客を確保していくため。	商工観光課
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
5	地域プロモーション推進事業	情報発信施設（Wi-Fi）の整備を行うとともに、携帯端末用の多言語アプリケーションを開発し、観光情報や伝統芸能である神楽情報、プッシュ配信によるイベントや災害情報を発信し、地域プロモーションの充実を図る。	18,411,345	10,000,000	指標① アプリ利用者	5,000	人	H28.3	393	携帯端末用の多言語アプリケーションを開発し、観光情報や伝統芸能である神楽情報、プッシュ配信による、イベントや災害情報を拡散し、地域プロモーションの充実を図り、年間観光客数400万人に対し、410万人を達成できた。しかし、アプリの利用者数に対しては、指標数5，000に対し、393人であり、今後更なる拡充を図る必要がある。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・観光客が減少した場合はWi－Fiに力をいれるなど変化に対応できるのか。 ・今年度のいれこみ数を来年、再来年度反映させていくのか。 ・地震の場合など大幅に数字が変わると思うが、28年度に指標をやりかえるという考え方でいいのか。目標値を見直しができることがこの戦略なのか。 ・アプリに関して5000人の目標に対して実績値が393人。2000万の費用対効果はあったのか。アプリを新たに作るより道駅いらずなど利用者が多いアプリを利用するほうがいいのではないか。	事業の継続	携帯用アプリを利用して使いやすく魅力ある様々な情報発信を行い、由布市への新しい人の流れをつくり、交流人口の増加を推進していくため。	総合政策課
					指標② 年間観光客数	400	万人	H28.3	410						
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
6	UJIターン推進事業	由布市には多くの魅力があるにも関わらず、生活環境の利便性を求め都市部への人口流出が課題となっている。 そこで、自然環境の豊かさなど、魅力をPRし、東京圏等からの移住促進を推進する。また、リフォーム費等を助成し、移住、定住を促進する。	17,011,560	15,404,000	指標① 市外移住者の相談件数	20	件	H28.3	60	移住コンシェルジュを配置し、移住者の相談に対応したことにより、相談件数の指標値20件については、60件を達成できた。また、空き家の有効活用を促進し、リフォームに対する助成を行うことにより、定住者の指標数10名に対し、43名の定住が達成でき地方創生に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・実績値43人は由布市に職場を設けたか、それとも市外なのか。 ・県と連携して大分で就職したい方のサポートもしてほしい /43人の年齢層を知りたい。年齢層でどういう人が来たか分かるのではないか。	事業の継続	由布市の魅力をPRし、首都圏からの移住促進を推進し、由布市への新しい人の流れをつくり、人口減少対策を推進していくため。	総合政策課
					指標② 定住者	10	人	H28.3	43						
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
7	地域子育て支援づくり事業	様々なニーズに対応できるスキルの高い子育て支援ボランティアを養成し、登録、運営の一元化を行い、各種子育て施策の充実を図る。また、新たに子育て家庭が集う場所の設置に向けた調査・研究や切れ目のない子育て施策として就学相談等を充実させ、子育て家庭が安心して暮らせるまちづくりを目指す。	4,620,000	2,700,000	指標① ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ登録者	30	人	H28.3	45	由布市の未来を担う子どもたちを地域全体で支えるまちづくりを推進するため「子育てサポーター養成講座（全6回）」を開催し、ボランティア登録者指標数30人に対し、シニア世代、子育て世代、男女含めて45人を子育てサポーターとして認定した。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・目標値を上回っているが登録後にどのような活動をしているのか。実際に子育ての支援となっているか分からない。指標を新たに加えるか、効果の中で記述をしてほしい。	事業の継続	子育てサポーター登録者の更なる増とサポータの活躍の場を広げ、子育て家庭等が集える場所の設置を進め、地域と一体となった子育て環境の構築を図るため。	子育て支援課 教育委員会 学校教育課
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
8	おおいた子育てほっとクーポン活用事業	子育てサービスの周知の促進を図るために、サービス利用クーポンを配布し、子育て世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図るとともに、希望通り出産・子育てができる社会経済環境を実現する。	160,000	80,000	指標① 子育てｻｰﾋﾞｽの認知度	64	%	H28.3	78	子育てサービスの周知促進のため、未就学児の保護者にサービス利用クーポンを配布し、併せて利用方法やサービス内容の説明を実施した。子育てサービスの認知度指標数64%に対し、78%の認知度を達成した。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・クーポンの認知度はわかるが使用実績はどうなっているのか。 ・クーポンの支払い方法が償還払いということで病院側も使用側も手間になっている。	事業の継続	子育て家庭の精神的・身体的・経済的負担の軽減を行うとともに、各種子育てサービスの利用促進につなげていくため。	子育て支援課
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
9	由布コミュニティ（地域の底力再生）事業	由布市は150の自治区があるが、それぞれの地域の魅力や抱えている課題はさまざまである。 そこで、それぞれの地域でこれからの地域づくりについての話し合い、交流を深め、地域の実態に合った取り組みを支援する。	3,625,840	2,814,000	指標① 地域計画の策定	2	地区	H28.3	3	地域の抱える諸問題の解決に向けて、住民が主体的に参加し役割を担う住民主導の地域づくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図った、地域計画の策定指標数2地区に対し、3地区を達成できた。	総合戦略のKPI達成に有効であった	・すでに50自治区が終わっているということで、元気な地区から事業を行っていき、どんどん難しい地区に入って舎ているのではないか。 ・自治区の中で日ごろから話ができたので地震の時も助け合いができた。コミュニティ事業で提案するだけではなく、お酒などを区に渡して区の中で飲んでもらえると顔を知る機会となり、災害の時も声かけができるのではないか。 ・事業の進め方でフランクにできるような仕組みづくり	事業の継続	多様化する地域の課題を地域住民で解消し、実態にあった取り組みを支援し、地域の資源や魅力を発展させて、地域活性化に取り組む必要があるため。	総合政策課
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
10	総合戦略策定事業	由布市人口ビジョン及び総合戦略を策定する。	7,014,401	5,238,000	指標① 10月策定	10	月	H28.10	10				追加等更に発展させる	PDCAサイクルを確立し、総合戦略の検証・評価、ブラッシュアップを行う必要があるため。	総合政策課
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
	合　　計		74,861,656	54,259,000											